

# 全道フットサル選手権大会 2016 U-12の部

## 札幌予選開催要項 0929

1. 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、小学生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。
2. 名 称 全道フットサル選手権大会 2016 U-12 の部 札幌予選
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 共 催 NHK 札幌放送局、北海道新聞社
5. 主 管 札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟  
札幌市サッカースポーツ少年団連盟
6. 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人北海道体育協会、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市体育協会
7. 期 日 2015年11月14日(土)・15日(日)・28日(土)・29日(日) 12月5日(土)・6日(日)
8. 会 場 札幌市内各小学校体育館
9. 参加資格
- (1) フットサルチームの場合
    - ① (公財)日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
  - (2) サッカーチームの場合
    - ① (公財)日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
  - (3) 複数チームによる「合同チーム」の本大会参加については、上記(1)又は(2)における参加資格を満たしている場合において認めることとする。ただし、合同チームの複数チーム参加については不可とする。
  - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
  - (5) 地区大会・全道大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
  - (6) 本大会フットサル登録料(2,000円)を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
- \*複数チーム参加の条件
- 2チーム参加……6年生が6名以上登録されていること。
  - 3チーム参加……6年生が11名以上登録されていること。
  - 3チーム参加……6年生が16名以上登録されていること。
10. 参加チーム 参加チームは、本大会の抽選会以前に参加の申し込みを終えたチームとする。

11. 競技規則 大会実施年度、(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) ピッチ
  - ・大きさ: サイズは原則として、32m × 16m
  - ・センターサークル: 半径 2.5m
  - ・ペナルティーエリア四分円の半径: 5m
  - ・ペナルティーマーク: 5m
  - ・第 2 ペナルティーマーク: 8m、
  - ・交代ゾーンの長さ: 4m
  - ・タイムキーパーの机の前のエリア: ハーフウェーラインの両端からからそれぞれ 4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
  - ・フリーキック: 4m
  - ・コーナーキック: 4m
  - ・キックイン: 4m
- (3) 試合球は、フットサル 3 号ボールとする。
- (4) 競技者の数
  - ・競技者の数: 5 名
  - ・交代要員の数: 10 名以内
  - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2 名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は 14 名以内(交代要員 10 名、役員 4 名以内)とする。
- (6) 試合時間
  - 予選リーグ(総当たり戦)・決勝トーナメントとも、20 分間(前後半各 10 分間)のランニングタイムとする。ハーフタイムのインターバルは 3 分間とする。  
(前半終了から後半開始前まで。)
- (7) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
  - ① 予選リーグは引分けとする。
  - ② 決勝トーナメントにおいて勝敗が決定しない時は、PK方式により勝敗を決定する。
  - ③ 決勝戦においては、6 分間(前後半各 3 分間)の延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
  - ④ 延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。
  - ⑤ PK方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

## 12. 競技方法

- (1) 予選リーグは、1 グループ 3 チームを基本としてリーグ戦を行い、各ブロック 1 位のチームが決勝トーナメントに進出する。
- (2) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になつた場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (3) 予選リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち 3、引き分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数

- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ PK方式

13. 懲罰
- (1) 札幌地区予選は、全道大会の懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、全道大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
  - (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
  - (3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
  - (4) 大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
  - (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

14. 参加料 参加料 8000 円(消費税込)

15. 参加申込
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名とする。
  - (2) 参加費 8000 円は、10月 15日(木)までに下記口座まで入金すること。

北洋銀行	店番号 349	(屯田北支店)
口座番号 3061654 (普)		
札幌市サッカースポーツ少年団連盟フットサル委員会 委員長 大畑 秀樹		

\* チーム名を必ず明記すること。

\* 複数チームで参加する場合、下記の金額を納入すること。

2 チーム参加の場合 16000円

3 チーム参加の場合 24000円

16. 帯同審判
- (1) 参加地区チームは、4 級以上の公認フットサル審判員を 1 チームにつき 1 名帯同させること。その氏名・級を参加申込書に記入すること。
  - (2) 帯同審判員は、役員と兼ねることができる。

17. 競技者の用具

(1) ユニフォーム

- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショ

ーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならぬ。

- (5) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。フィールドプレーヤーは 1 番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (6) ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (7) その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。

(2) 靴

靴底は接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

(3) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。各会場で行う。

18. 監督会議

19. 表彰式  
及び閉会式

各ブロック優勝、準優勝チームには表彰状を授与する。表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。

20. 負傷及び  
事故の責任

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

21. その他

- (1) 各試合競技開始時間の 30 分前、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員とミーティングを行う。このミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、諸注意事項の説明等を行う。
- (2) 電子選手証等  
各チームの登録選手は、JFA 発行のフットサル電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または JFA 選手証(写真が貼付されたもの)を、試合会場に持参すること。いずれかが確認できない場合は、試合に出場できない。
- (3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (6) 代表 6 チームには、平成 28 年 2 月 20 日・21 日に開催される全道フットサル選手権の参加を義務づける。

以上